

市民の夢 協えるプロジェクト提案事業一覧

No.	提案事業名称	提案理由	具体的な提案内容	予想される効果
1	いわくら今昔WEB写真館 - い〜gle map 岩倉変遷50年 -	ここ最近、岩倉で長年続いてきたお店やレトロなスポットなどが開発等々で閉店・解体されたりしています。岩倉のお店や場所などの風景や、そこに関わる様々な人々が時代の流れとともに遷り変わるのは当たり前のことですが、その遷り変わりとともに無くなっていく場所と、そこに関わってきた市民の当時の思い出を、何とか多くの市民やこれからの世代に受け継いでいくことはできないだろうか、このまま無くなっていくだけでは寂しいのではないかと、市民の記憶の中だけではなく「記録」としてずっと残していくことはできないだろうかと思ひ、その方法を今回提案します。	市で保有している過去から現在に至るまでの岩倉市内の様々な場所、店、人、イベントの写真と、市民から公募して過去から現在までの岩倉の写真を集め、それを年代別、場所ごとなどに分け、インターネット上で閲覧できるようにします。 そうすることで「岩倉の50年」の歴史をまちなみなどの遷り変わりの写真を通して目で見ることができ、学校現場での学習や老若男女問わず思い出の共有ができるようになり郷土愛を育てることができるなど、さまざまな形で活用ができると考えます。	○岩倉の過去から現在までの変遷・発展を市内外に発信することができる。 ○市が保有している過去の写真を眠らせておくのではなく、有効活用できる。 ○市民が思い出を共有できる。親子で思い出を共有できる。（「昔はこんなところにこんな場所があったんだぞ」「そういえばこんな駄菓子屋あったね！」と思い出を語れる） ○郷土愛を育める。 ○学校の総合学習などの授業でも活用できる。 ○生涯学習でも活用できる。 ○高齢者が写真を見ながら懐かしい記憶をよみがえらせることで呆け防止につながり、健幸づくりにも貢献できる。
2	いわくら写真えほんの出版	岩倉には名所がたくさんあります。岩倉には笑顔がたくさんあります。岩倉市民が参加して、岩倉の魅力を伝える写真絵本を作成・出版することを提案します。	○岩倉の名所を背景に、希望する岩倉市民の笑顔の写真を掲載した写真絵本を作成。（例：ここはどこかな？→ここは五条川。というように展開） ○希望人数が多い場合、「岩倉版ウォーリーを探せ」のイメージで多くの市民を掲載。 ○岩倉の好きな場所を募集し、その場所で撮影会を開く。（感染症の状況により集まるのが難しい場合は、写真を募集し合成） ○絵本の内容・構成も希望者で考える。会議またはオンライン・メール等で。 ○（営利目的にならなければ）完成した絵本を一般の本屋さんや図書館に置いてもらう。 ○岩倉市民には、市制50周年記念品として1世帯に1冊贈呈。	○市民は市制50周年の思い出を作ることができ、絵本は記念として永遠に残る。 ○市民参加の写真絵本にすることによって、岩倉をより身近に感じることができる。 ○リーフレットではなく絵本にすることによって、子どもに読んだり大切な人にプレゼントしたりしやすい。また、写真にすることによって、岩倉50周年の現在の様子を残せる。 ○この絵本が普及することで、「岩倉」を市内外で感じることができ、魅力発信にもなる。
3	名誉な活動を表彰して欲しい	褒章制度に入らない(過去に例がない)と取り上げられなかった事例にたいして、今回の50周年の記念事業を節目として、岩倉市に功績を残された人達を掘り起こして、表彰されますよう提起いたします。	(提案には具体的な個人名あり) お年寄りの人たちにお弁当配りを初の活動から以来20余年、その間にはNPOを登録し、岩倉市のみどりの家の指定管理を委託、移動サービス、手打ちうどんの普及、などと岩倉市の発展に寄与された。	民間の活動は、自治体の評価が少ないと言われているが、他の活動をされている人たちの支えとなればいい。
4	岩倉市の50年間の歴史の歩みを知ろう	昔の岩倉市と今の岩倉市の歴史の歩みを知ってもらい岩倉市の伝統である山車やのんびり洗いなど岩倉市に元々住んでいた人から他所から引越して来た人、これからの岩倉市を支えてくれる若者からこの岩倉市を支えてくれて活動してくれた老人の方々など幅広い方々に今と昔の岩倉市を知ってもらい、今後より良い岩倉市を作ってくれるように昔からの伝統をもっと別の世代へと引き継いでいってもらえるように昔のことをずっと学んで活用して欲しく提案しました。	スクリーンを使って50年間の歩みを見て知ってもらう。 岩倉市をよく知っている方と一緒に決められたルートを元に市を歩き、昔と今でどう変わっていったかを知ってもらう。	今の若者が、今後岩倉市を紹介する時に良い資料として活用できる。 今では感じられない昔の岩倉市を感じられ昔の岩倉市の歴史を知れる。
5	子どもたちが安全に楽しく遊べる場を。街のシンボルになる公園	三密を回避しつつ子どもたちがのびのび遊べる場所がほしい。 withコロナ、ニューノーマルを受け入れた新しい生活スタイルに外遊びは必須である。自然の暑さ、寒さ、虫や音に触れることで想像力の豊かな子どもになれる。自然体験ができ、安全で小さな子どもが行ける公園があったらいいなと思いました。	○水遊びできる噴水？小川のようなものがあったらいい。 ○遊具は最小限、草木の生えたエリアを広めに。中央を丘のような配置でも。 ○親や地域の人が見守れる環境。	○子育てに注力している岩倉市に、真夏水遊びができるようなスペースがないのはもったいない。コロナ禍に遠方へと出向かずとも、ワンストップで遊び場がある事で地域住民は安心して遊べる。
6	桜通りについて	車の通行の為だけにはして欲しくない。	計画されている桜通りは、車両の通行を禁止する。 車両は南側と北側に通っている既存の道路を使用する。 通りの中央には、東西に一行桜の木を5、6本植えて、市民が集える憩いの通りにして欲しい。 花壇には四季の花が咲き、ベンチでは親子連れが遊び、駅前広場が五条川まで続き、通りの両側には レストラン、喫茶店、なども有れば良い。 新しい岩倉の誕生です。 車の通行の為だけには、して欲しくない。	記入なし

No.	提案事業名称	提案理由	具体的な提案内容	予想される効果
7	深呼吸する道	尾張の夏は暑い。 それはこの土地の土地柄であるし、土地の人間のアイデンティティのひとつにもなっているようだ。 しかしながら少々暑すぎる。 「クーラーを使えば平気」で済ませるのでは持続性が無い。 暑いからこそ、その中で生きる知恵を発揮していきたい。	アスファルトやコンクリート舗装のない、あぜ道のような遊歩道のような道を市内全体に確保する。 そうすることで、太陽の熱を地表で撥ね返すのではなく、土と草に覆われた地面(「グラウンドカバー」という)に熱を吸収してもらえるようにする。 車いすやベビーカーにも通りやすいようにする必要があるため、土や草に限ることもないが、劣化して五条川に流れ着いても汚染につながらない、自然物に還る物質を選択する。	・太陽熱を反射させず地面に吸収させることで、地表の気温上昇を抑える効果を期待する。 ・地面により近い小さな子どもほど地表からの照り返しを強く浴びている。照り返しが無くなることで、子どもに優しい道ができる。 ・土と草の地面はコンクリートより柔らかく、歩く人に優しい。 ・歩く人に向けた道をつくることは利点が多い。 これまでは生活道路のような道にも車が抜けていたところを、徒歩専用とすることで安心して行き交うことができる。 車に乗ってしまうと挨拶もできないが、徒歩だと行き交う人との会話も生まれ、人とのつながりも自然に築いていける。 ・あまり前例はない取り組みである。温暖化への根本的な解決につながる取り組みをしている市として注目と好感を持ってもらえる。
8	あるきやすい～わ ：まちなか緑プロジェクト	○お年寄りと子どもの交通安全を守る → 用水路周りや生産緑地入口の雑草に老人・子供が隠れて、車から発見が困難。 → 雑草が道路に張り出しているため、人が道路の中央を歩き危険。 ○ ゴミのポイ捨ての防止・ヤブ蚊発生低減 → 雑草は、ポイ捨て用のゴミ箱。ゴミが雑草に埋もれ、取り除くのが困難。 → 用水路に雑草が倒れ混んで水を汚染し、ヤブ蚊の温床。 ○まちなか緑を増やし、季節の変化を感じられ歩きやすい街中作り → マンションやアパートが増え、まちなか緑が減少。 → 公共施設や幹線道路沿いだけでなく、住宅街も緑化し、季節感のある街を取り戻す。	○用水路周り・生産緑地入り口の草刈り、防草シートの設置 ○用水路周り・生産緑地入り口につつじ(市の花)等の植栽 ○広報に、「今月の花」として、公共施設やまちなか緑の開花情報を掲載	○老人・子どもの交通安全が守られる。 ○ルーティンになりがちな毎日のウォーキングや平凡な通勤に変化を与え、まちなか緑を目的に足を伸ばす事で、心も体も更に健康。 ○街中で共通の会話が増え、いつもとは違う道を歩いてもらうことで、防犯に繋がる
9	田んぼ遊び	田んぼを活用し、大人用の遊び場を確保する。	休耕地の田んぼにランドゴルフ等のコースを設置して、大人(と子どもと一緒に)体を動かして遊べる場所を提供する。点数の付けられるスポーツならイベントとして定期的に行い、表彰を行って毎年の楽しみとする。	子育て世代へのアピール。健幸都市いわくらのアピール。
10	市民をつなぐ、想いをつなぐ地域のお金プロジェクト	岩倉市は小さい町だからこそ市民同士や市民と行政、議会との距離が近い方がいいところだと感じています。しかしながら小さいがゆえに生活を支える様々なサービスについては市外のサービスを利用することになり、地域の人々のつながりが市民の生活を支える経済活動に結びついていとは言えません。また単純に経済活動に目を向けてしまうと、日々岩倉市を支えて頂いている方々の想いを感じたり、つないでいくことができません。小さな町だからこそ、自分たちの力で生活をより良いものにし、地域に貢献頂いている方々の想いを感じる仕組みがあれば、ステキな岩倉市になると思い提案させていただきます。	「地域通貨」の運用です。仮想通貨が運用されているブロックチェーンをシステム基盤にすることで、地域に貢献頂いたみなさんへ付与し、地域の事業者さんで利用できればと考えております。またブロックチェーン技術によって地域通貨の流通経路を解析することができ、どなたがどのくらい地域貢献を通じて地域通貨を付与・交換されているかによって、一部分かもしれないですが、その方の「想い」についても感じることができると思います。	岩倉市で発行できる独自通貨を持つことで、個人や団体での活動に対して付与し、市内の事業者さんでの利用に限定することで市民に必要とされる事業者さんの維持・発展に寄与します。有効期限を設ける事によって付与された通貨は消費されることになり、地域経済の活性化を能動的に行う事が可能になります。補助金等生活を支えるお金もスムーズに支給できたりすることも今の時代には必要なことかと思えます。
11	岩倉駅周辺を桜でおもてなしする	岩倉駅に着いた瞬間に桜のまちだとわかるものがない気がします。 市制50周年を記念して、駅周辺を桜の時期でなくても桜でおもてなし出来る環境作りをしたいと思い提案しました。	○岩倉駅のホームから見える所に五条川の桜の看板を設置する。 ○地下道の壁や天井に五条川の桜並木の絵又は写真を貼り付ける。 ○市制50周年を記念してピンクの桜の花びらの紙に願い事や想い等を自由に書き込みしてもらい壁に貼れるようにする。	○多くの人々に桜のまち岩倉市を知ってもらう。 ○岩倉市民も岩倉駅を利用するたびにより桜に親しめる。
12	五条川桜並木の歴史	岩倉市を代表する桜並木の生まれるきっかけや現在までに至る歴史のみを扱った文書がないため、他市町等に説明する際に不便なことから、資料編纂を行い記録に残す。	五条川側沿いに桜並木が植えられた動機や経緯をまとめた資料を作成し、紙媒体や動画等で記録し後世に残す。岩倉市民が桜並木の歴史を振り返ることができ、また桜並木を紹介するときの原資料となる。	記憶ではなく記録に基づいた桜並木の紹介ができる。マスコミ等への資料になる。岩倉市の桜の歴史を学べる。
13	桜の木を使ったお土産の制作・販売	岩倉市を代表する「五条川の桜並木」に関して、それを象徴するようなお土産がないので、廃材を使ったお土産品の開発・販売を行い、岩倉市と五条川の桜をアピールする。	「岩倉五条川桜並木保存会」さんが岩倉桜まつり開催時に桜の木のキーホルダーを作成・配布してるが、この桜の木のキーホルダーをヒントに、桜の間伐材を利用した商品を開発し、通年販売することにより桜並木の保持・保存活動の資金とする。 また、桜の木を使った商品を販売することで、岩倉市の桜並木をアピールする。	「岩倉五条川桜並木保存会」の活動資金の補助。間伐材を使うことによるエコ活動アピール。岩倉市の桜並木をアピール。
14	桜フレンズ	岩倉市にとってなくてはならない桜並木です。奇跡のりんごの実話のように、1本1本の桜に名前をつけ、大切に育てることに元気に長生きしてくれると思います。また、広く岩倉市の桜並木を知ってほしいと思います。	1月2月に桜フレンズの名前を子供からの意見を多めに、市民から募集し決めます。その名前をもとにSNSで全国(全世界)からキャラデザを募集します。キャラデザが決まったらARにして1本1本の桜の前で見られるようにします。	子供達は名付け親の良い思い出になって、大人になっても自分の桜を大切に思い、岩倉市に愛着を感じてくれるのでは。絵師は自分のキャラデザの桜を見に(絵師のファンも)岩倉市を訪れるのでは。

No.	提案事業名称	提案理由	具体的な提案内容	予想される効果
15	落としても踏んでも割れない「岩ガラス」	住民誘致は健全な勤労環境(企業経営)から。コロナ禍で沈む企業活動と社会課題を同時に解決する場を岩倉市が設定する事で、未来につながるマルチパートナーシップを創出する事ができると考えます。 また、岩倉市が誇るべきガラス資源を掘り起こし、リサイクルシステムと共に輝かせる事で、新たな文化的資源を50周年という節目に生み出し、他市町との差別化を図る事が、シビックプライドとシティプロモーションの活性につながると考えます。	量り売りに対応したガラスびん(ガラス形状)を開発・普及し、市内でリサイクル・再製品化までできる流れを構築します。製品は市内の飲食・小売まで連携された利用促進策を展開。掲載支援を兼ねてサーキュラーエコノミーへの転換を促します。 可能であれば名称の通り耐久性の高い製品を「岩ガラス」として、外向きのプロモーションに活用しつつ、国内・海外での販売を展開します。	サーキュラーエコノミーに適したガラス素材での循環システムを先駆けて開発する事でサステナブルな動きを牽引する市として注目されます。 外向きの新産業開発ではなく、内向きの循環型地場産業を創出する事で住民満足を得つつ地域再生・創生する事ができます。
16	岩倉駅駅弁プロジェクト	コロナ禍で多くの飲食店がテイクアウトを始めました。それらを駅弁として岩倉駅東西地下連絡道で「野菜の広場」のように販売をすると、岩倉市内の飲食店の再発見になるのではないのでしょうか。また、他市からの観光客にも岩倉のアピールになると思います。	○市内飲食店・弁当店から協力いただける店舗を募集する。 ○応じてくださった店舗の弁当を駅弁として「野菜の広場」のように販売する。	○岩倉市の飲食店の活性化。 ○市民の市内飲食店・弁当店の再発見。 ○観光客への岩倉のアピール。
17	シティープロモーションキャンペーンレディー(観光大使)の設置	観光大使の存在があることで県内外からの集客が見込まれるため、せっかくの観光地などが愛知県内の他の観光地などに埋もれないよう観光大使の存在を使って発信するといとおもう。	隣の稲沢市一宮市にはミス織物、ミス七夕や、稲沢市キャンペーンレディーといった市民からの公募のなかで審査をして選出された観光大使がいます。 岩倉市には、市内のまつりや桜などの名所もありますが愛知の見所のなかで埋もれがち。また、小さな地域なので岩倉市が県内でもどこ？と知られていなかったりするので、観光大使の存在があるとSNS発信も盛り上がるし、それを求めて訪れる人からどんどん町をしてもらえるよう知名度を広げることができるとおもいます。 ミスだと未婚者と限られるため、キャンペーンレディーなどとうたい、より多くの公募を集めて、観光協会や市長が審査に参加し、コネなどのないオーディションをするとより質の良いPRをしてくれる存在ができるのではないかと考えます。	全国のミスやキャンペーンレディーなどの観光大使を目的に各地を回るマニアがいる。だいたいそういう人たちはSNSを使っていて繋がりがすごいので、まず、そういう存在の集客があり、どんどんSNSから広がり、また、地域の広報紙などの写真つきPRをしたりして市民内外に広がっていくのではないかとおもう。
18	PR動画を製作する	呉市や南城市のように、岩倉市のPR動画を作成し岩倉市公式YouTubeチャンネルにUPしビューを稼ぐ。スポット紹介だけにとどまらない演出を施し、チャンネル登録数の上積みを図る。	岩倉市PR動画を作成する。著作権料無料で「いわくらだいすきい〜わくん」を使用できる。それ以外はJASRACに使用料を払って作成。 面白い動画を作ればビューは稼げるが、チャンネル登録数は飛躍的には伸びないと予想されるので、当初はチャンネル登録数1000人を目標とする。 ※9月4日現在459人	岩倉市の知名度UP。
19	岩倉団地鯉のぼり計画	鯉のぼりを岩倉団地全戸にかかげることにより、のんびり洗い(鯉のぼりを五条川で洗うこと)をPRするとともに、染め物と言う江戸時代からの伝統文化が息づくまち・岩倉市をアピールする。 また、団地という住居形態を改めてアピールしつつ、鯉のぼりを通して安全で住みやすい、子どもにやさしいまち・いわくらをアピールする。	いわくら団地全戸に紙製鯉のぼりを配布し、5月5日にベランダ等にかかげてもらい、その様子を地上から撮影して後日公開する。鯉のぼりのデザインは松浦さんをお願いする。鯉のぼりの彩色は、たとえば岩倉総合高校の生徒さんや市内保育園の園児さん等をお願いし、“のんびり洗い”のPRの場とする。	岩倉市の特産品の一つとなる染め物や鯉のぼり生産への認知度UP。岩倉市自体のPR。
20	岩倉城再現	現在は石碑しかない岩倉城を映像で再現することにより、新たな観光資源とし、愛知県の武将観光に結び付けて誘客し、交流人口を増やす。	岩倉城のデータを作成し、プロジェクションマッピングまたはCGで再生できるようにする。再生場所は未定だが、岩倉城址から空中に再現できれば面白い。予算的に難しければ、例えば岩倉市の古地図に岩倉城がCGで浮かび上がるような映像を作成し、再生することにより、信長と信安との闘いや落城などの説明とともに、武将観光に組み込まれやすくする。	武将観光でのツアーの立ち寄り先に選ばれやすくなり、岩倉市が訪問されやすくなる。
21	岩倉駅前 山車3台揃い曳き	岩倉が誇る山車は年2回、桜祭りと祇園宵祭りに町内を曳き回されるが、セレモニーは「くすのきの家」で行われており、来訪者へのアピールが弱い。 市制50周年を記念し、岩倉駅東側ロータリーに山車を揃えセレモニーを行うことで岩倉の山車をアピールする。	岩倉駅東側近辺は電線が地中化されており山車の巡行に支障はない。中本町の山車は神明大一社東側の駐車場から出るため、その地点から駅までの区間の電線を上げることで巡行はできる。 山車曳きとセレモニーの間、名鉄バスを西側ロータリーに変更する必要がある。	市制50周年に来訪される方へ大きなアピールになる。
22	船橋楽器資料館応援プロジェクト	国内でもユニークな存在の「船橋楽器資料館」の館主が亡くなって久しいが、この他に例のない博物館を存続させるためのプロジェクトを設立する。音楽のまち・いわくらにふさわしいメニューを開発・再興させ、岩倉市をアピールするとともに、館の運営費用を捻出する。	・民族音楽コンサートの開催(以前開催経験あり) ・いずれかの団体の事務所による、家賃からの維持費の捻出 ・プロボノによる収集楽器の整理や修理 ・奥様へのインタビューによる、エピソードの文字化 ・クラウドファンディングによる、博物館の維持費の捻出等	音楽のまち・いわくらのアピール。博物館を訪れる観光客による交流人口の増加。

No.	提案事業名称	提案理由	具体的な提案内容	予想される効果
23	岩倉城の復興	歴史的価値の高い岩倉城。もっとPRできるといいなあと思います。そのため、現在の跡地だけでなく、城を復元し歴史を体験することができれば盛り上がりと考え、提案します。	○城の復元は今回間に合わないと思うので、60周年までに復元することを目標とする。 ○50周年は、岩倉城復興元年と位置付け、岩倉城の歴史を知る展示やイベントを開催。可能ならば大きな会場でVRやプロジェクションマッピングなども利用し、岩倉城復元のイメージが沸く映像を流す。動画配信もできるとよい。 ○復元についての市民会議を開催する。また、学校を通じて子どもからアイデアを募集。(本物に忠実か、最新技術を使った歴史館か、など。復元賛否の投票・意見も募る。) ○(復元場所が決まれば)岩倉城復元建設予定地を見学する。 ○欲を言えば城復元地の周辺を城下町に。(今のお店等は大切に残す。)岩倉街道も復元。	○岩倉城の認知度向上。 ○岩倉の観光が盛り上がる。 ○歴史を身近に感じる。
24	もっと音楽を。	市内各地で定期演奏会など行われているが聴きにいけない。市役所のピアノがほぼ使われていないように感じられる。昔から岩倉市内で大森楽器さんが経営されているし、また岩倉市在住ですが船橋楽器資料館に行ったことがないなど、まだ「音楽」の開拓ができるのではと感じた。	ストリートピアノ設置。市内に数台のピアノを常時設置。音楽好きに来てもらいSNS、youtubeなどにひたすらUPしてもらおう。桜まつり、夏祭り、各自治会夏祭りにそのピアノを移動設置してストリートピアニスト、近くの音大生などに声をかけて弾いてもらう。プロ音楽家だけでなく素人も巻き込む。	ピアノ目当てで来る人が増え、集まった人たちが買い物や観光をしてくれれば、商店の収入が増える。
25	市民でベートーヴェンの第九を歌おう♪	何十年か前に総体文で第九を歌いましたが、山本直純さんの指揮でオーケストラと一緒に歌ったこと、とても良い思い出になっています。最近、このような大きなイベントが無いように思います。子ども達にも、オーケストラと共に歌う爽快感を経験してもらいたいです！	小学生～大人で、オーケストラと第九を歌いたい方を募集。 コロナの影響が今後どうなるのかわかりませんが、練習の回数がそれほど取れないようでしたら、練習用の音源をYouTubeの限定公開でアップし、それを聴いて練習してもらおう。 合同練習の回数はコロナの状況次第で。 リハーサルと本番はセントラル愛知さんのオーケストラで合わせる。	○「音楽のあるまちづくり」を掲げている岩倉のイメージアップ。 ○子どもたちに、生のオーケストラの音に包まれて共に音楽を作り上げる喜びを！ ○子ども、大人に、一生の記憶に残る思い出を。 ○子どもにとって、学校、周りの友達だけでなく、人間関係の広がり、社会・世界の広さを感じる場に。
26	サクランド音楽祭の開始と文化振興基金の創設	1.シビックプライドの醸成ができる。 これまでの「音楽のあるまちづくり」を生かす。 2.次世代につながる未来志向がある。 子どもたちとともに歩んできた「音楽のあるまちづくり」を次の50年につなげる。 3.シティプロモーションの推進ができる。 高い情報発信力のある岩倉桜祭りに合わせて音楽祭を開催することで、内外に本市の魅力を発信することができる。	音楽祭の開催 ・桜祭り期間中に、岩倉駅改札前と生涯学習センターロビーにステージと看板を設置し、生音中心の音楽演奏会を開催する。 ・岩倉駅改札口西側にミニステージを設置し、アップライトピアノを設置し、誰もが演奏できるようにします。 ・本提案が実現すれば、音楽の専門家をメンバーに含む音楽祭運営組織「サクランド音楽祭実行委員会」を設立する。 文化振興基金の創設 ・果実運用型基金「岩倉市文化振興基金」3億円を設け、長期債による運用益、年間190万円程度を、「音楽のあるまちづくり」など文化振興に係る事業に、今後毎年度財源充当することで、次の50年に向けての岩倉市の文化振興の継続性を獲得する。	1.シビックプライドの醸成ができる。 2.次世代につながる未来志向がある。 3.シティプロモーションの推進ができる。
27	図書館で読書会	旅行でフランスに行った時、リヨン市やレンヌ市で図書館主催の読書会に参加しました。普段孤独に読書をしている様々な年齢・性別の市民の交流の場として大変有意義だと思いました。自分の住んでる市でもこのようなイベントがあると嬉しいです。	場所は図書館で、ファシリテーターとして市の職員(本の知識が豊富な司書さんが望ましいです)が必ず参加し、毎月開催します。課題本を全員が読むという形式ではなく、最近読んだ面白い本を数冊、各参加者に紹介してもらいます。紹介している横で、スタッフがPCで書籍情報を検索してモニタに表示したり、図書館から本を持ってきたりするとより理解度が深まって良いです。	読書好きな人々を市が繋ぐことで、地域の文化度が高まります。図書館の利用率や有効性がアップします。書店・読書喫茶等、産業への波及も期待できます。スポーツ好きやカラオケ好きに比べて、読書家は孤独になりがちですので、大変効果的です。
28	図書館で出会う「平成レトロ」展示会	図書館を「観光資源」と捉え“まちおこし”を行う。イベントにより、図書館自体への注目度を上げる。	タイトル案は「Dearオトナ◎チョー ² なつかしい本覚えとる？」 30代前後の層への訴えかけを目的とし、図書館で収集した本を観光資源として再活用する。上記内容をコンセプトとした「平成レトロな本の展示会」を開催する。	本をあまり読まなくなった層へ“懐かしさ”の訴求により図書館の再利用を促す。 図書館利用率の向上とともに、平成レトロをキーワードとすることによる注目度の向上。

No.	提案事業名称	提案理由	具体的な提案内容	予想される効果
29	eオリンピック 2021@iwakura ～50th anniversary～	これから先の岩倉市や市民が「新たな一歩を踏み出す」ために、「これまで市で行ったことのない記念事業」で「未来を担う若者」を中心に「良い思い出として記憶・心に残る事」をテーマにeスポーツで競い合うイベントを開催したら盛り上がるのではないかと考えました。 現在の世界的な流行にも遅れることなく、開催方法を工夫すれば、コロナ禍でも多くの方に参加してもらえそうです。	○eスポーツ(ゲーム大会)を行います。 ○事前に広報等で周知し参加者を募り、大会は予選・本戦形式で行い、予選によりベスト16まで絞り、勝ち上がったメンバー同士で本戦を行います。 ○会場は総体文多目的ホールを想定しています。アリーナでもオンラインで観戦できるようにし、その他動画の生配信を行ったら密集を避けながら応援できます。 ○競技は1～3種 テトリス:子どもから大人まで多数に認知されているゲームであり高齢の方や親子・家族での参加も期待できます。 スポーツ系:オリンピック競技やウイニングイレブン(サッカー)、実況パワフルプロ野球等が考えられます。 携帯アプリ:例えば、タップするたびにジャンプをして障害物にぶつかることなく何メートル進めるかを競うといったようなゲームがたくさんあります。このような、対戦形式ではない種目を入れるのも良さそうです。	○50周年の節目のイベントとして多くの参加者の記憶に残ると思います。 ○参加者に、岩倉が楽しいまちだと思ってもらえ、その後のイベントにも期待してもらえそうです。 ○市が面白いイベントを行うということで注目を浴びると思います。
30	スケボーパークを岩倉に!	東京オリンピックで初めて競技に追加されたスケートボード。若者に今とても人気なスポーツですが、まだまだスケボーパークは少ないのが現状です。岩倉にスケボーパークを作って欲しいです。交通の便も良い岩倉ならではの、パークを作って若者の集まる場所に。	公園に新たにスケボーパークを作る。私の親族に実際にスケボーパークを作った者がいるので、パーク構想は提案できます。	スケボーパークを自当てに、スケボーをしたい若者が各地から呼び込める。飲食店等の増客も見込まれる。若者が各地から集まることで、街が若返る。若者に岩倉を知ってもらい、将来移住の選択肢に繋がる。
31	市民から愛される「市民温水プール」の整備	岩倉市には他市町に誇れるような特色(魅力)ある施設がなく、市民として大変残念な思いをしている。今回のプロジェクトの基本方針である“シビックプライド”をテーマとし、多くの市民が夢や誇りをもって暮らし、年齢や性別による制限がなく、いつでも誰もが気軽に参加(利用)できる企画とする。更には、市政方針を反映し、市民ニーズを踏まえながら、次世代につながる提案とする。 そこで、下記理由により「市民温水プール」の整備を提案します。 ●本市では平成30年に「健幸都市いわくら」を宣言。 宣言文では健幸長寿社会実現に向けた取組として、市民が“心豊かに楽しく続けられる運動習慣”が掲げられています。そこで、市民がいつでも気軽に利用できる市民温水プールを整備することは、通年型の運動習慣として市民の健康管理に役立つ。 ●全国の小中学校では学校プールのあり方について見直しが行われている。 今、小中学校では少子化に伴い学校の統廃合が進むなか、老朽化した学校プールを廃止し、市民プールや民間プールを活用した水泳授業が広がっている。本市も例外ではなく、老朽化した学校プールの集約化は喫緊の課題であり、市民温水プールの早期の整備が求められている。	市の基本方針である市民参加や協働による街づくりを目指す観点から、本提案についての具体的な提案内容説明は下記による。 ●市民温水プールの整備において官民協働による手法を導入する。 本市ではPPP/PFI手法導入優先的検討ガイドラインが示され、市の公共施設整備事業においては官民協働での取組を優先して検討するように求められている。そこで、今回の提案では、BOT方式を採用し、市が建設用地を確保した上で民間事業者による施設の設計・建設及び運営を担う方法で検討する。これにより、市民温水プール整備費にかかる市の事業費負担軽減を図る。 ●建設地の候補としては、市内の事業者との連携を検討する。 市内には溶融炉を使用している企業があります。この事業者との連携を図ることで、炉の廃熱利用が可能となればプールへの温水供給用経費が節減できる。 また、リハビリ療法に取組んでいる医療施設との連携により、市民温水プールを利用したプール歩行などは大変有効であり、地域医療や福祉においても重要な役割を果たす。 ●市民温水プールの活用で学校プールの集約化を促進する。 市の公共施設再配置計画では、老朽化した学校施設の取組が示されていますが、学校プールは対象外となっています。しかし、現状では学校のプールも同様に老朽化が進み、今後は維持管理費に加え修繕費や改築費用の増加が予想されています。本市においても、一部の学校での水泳授業を民間に委託する取組が始まっていますが、今後は、集約化を進める状況下で、市民温水プールを活用した水泳授業への移行が求められている。	●市民温水プール整備の効果 ・地域産業との連携や官民協働のプロジェクトにより、地域経済の健全な発展に寄与します。 ・市民温水プールは地域社会における新しい文化交流の場としての地域の活性化に有効である。 ・幼児から高齢者まで、あらゆる世代の市民が利用し、世代を超えたコミュニティの場となる。 ・地域福祉や医療施設との連携により市民の健幸長寿にも役立つ。 ●学校のプールを集約化した場合の効果 ・各小中学校のプールの維持管理費や老朽化による改築費等の膨大な経費が節約できる。 ・集約化による学校プールの跡地の有効利用が図れる。 ・市民温水プールを利用することで、天候に影響なく通年での授業が行える。 ・集約により水泳授業を専門のインストラクターに委託が可能となり、教師の負担軽減につながる。
32	空き地でキャッチボール大会	空き地でボール遊びがしにくくなって久しいが、市がその機会を設けることによって子育てのしやすいまちを内外にアピールするため。	いずれかの空き地や遊休地をフェンスで囲い、その中でボール遊び(キャッチボールやサッカーなど)ができるスペースを作る。その日は「ボール遊びの日」等のネーミングで、子どもたちに思いっきり遊んでもらい、子育てのしやすい岩倉市をアピールする。	岩倉市のイメージUP。子育て世代へのアピール。
33	エスペラントで岩倉の夢あるまちづくり	エスペラントは、1887年に、ポーランドの眼科医ザメンホフが発表した国際共通語です。ことばの違いによる民族のいさかいをなくし、人々が自由で平等で、平和な社会に生きられることをめざして作られた人工語です。国際語といえば英語というイメージがあるかもしれませんが、現在、世界の百数十カ国に百万人のエスペランティスト(エスペラント使用者)がいて、毎年どこかの国で開催される世界エスペラント大会をはじめ、グレジオン(フランス)、シヨードフォン(スイス)、ハッヒエエスペラント館(山梨)など各国に宿泊研修施設があり、世界中で国際交流を行っています。 エスペラントをはじめると、エスペラントを通して世界中の人々と出会って、世界中に輪が広がっていくのを感じます。 岩倉市は、現在、いろんな国の人々が住んでいます。岩倉で文化的背景を異にする多様な人々をつなぎ、平等に生きていく社会を作っていくために、世界中の人々とコミュニケーションできる言語エスペラントをとおした夢あるまちづくりを提案します。	これまで、「えほんのもり」で開催した「世界の楽器コンサート」には、岩倉市第三児童館の子どもたち、岩倉市内外の子どもたちが参加してくれました。演奏者は、世界エスペラント協会(本部はオランダのロッテルダム)の理事も務められた方で、エスペラントで世界中を回って収集した楽器やおもちゃを「えほんのもり」に寄付してくださいました。 申請者も、第三児童館放課後クラブや南小学校2年生の生活の授業で紹介させてもらっています。 それらを活用してエスペラントを広めていくのも楽しいと思います。 子どもたちだけではなく、大人にもエスペラント学習の機会や、その魅力を知ってもらう講座を開催したいと思います。 (余談になりますが、南小学校2年生の授業の中で、“エスペラントで「またね」は「Gis revido! (ジス レビード)」っていうのよ。でも仲良しの友だちには「Gis!」だけでいいのよ、と伝えました。私が授業を終えて体育館を出ていくときに「Gis!」「Gis!」と口々に叫んで見送ってくれました)	「エスペラントって知ってる?」とたずねると、「知らない」と答える方が多いと思いますが、宮沢賢治はエスペランティストで、「イーハトーヴォ」ならみんなが知っているし、JR釜石線を旅したことのある人なら全駅にエスペラントの愛称名がついていたことを記憶していると思います。 また、2017年に発売された「ことのはアムリラート」は、エスペラントをベースとした美少女アドベンチャーゲームで異例のヒットを記録しました。 エスペラントを知ること、いろんなこと、いろんな人と出会うことができると思います。 また、世界中とつながるきっかけにもなるので、生きる楽しみが増えます。

No.	提案事業名称	提案理由	具体的な提案内容	予想される効果
34	岩倉国際交流まつり	外国人居住者が人口の5%を占める岩倉市の特徴を活かし、外国の食や文化を通じて他国への親しみを造成し、イベントを通じて日本人と外国人の交流を促す。	岩倉駅西口460号線を新柳町交差点から(名鉄バスが運行しているため)名古屋江南線中央町三丁目交差点まで歩行者天国にし、その両脇の歩道をテント等の出店スペースとする。みどりの家を利用した展示会や、道路でサンバやフラダンスなどの踊りやカポエイラなどのパレードを行うことで、国際色豊かな食と文化のおまつりとする	岩倉市ならではの国際色豊かなイベントを実施して、国内外に市の外交的な印象を与える。外国人が出店する機会を増やすことにより、収入を増やし税収増につなげる。岩倉市が外国人でも住みやすいイメージをアピールする。
35	岩倉・夢・情報コーナー	各階のエレベーターホールに設置されているチラシスタンドの前でチラシを丁寧にしている人を見たことがありません。市役所を訪れた市民はエレベーターホールを通り過ぎるだけで、あまり広報効果がないように思われます。また、陳列の仕方にしても、A4のチラシをタブラせて置いてあったり、A4チラシの手前に三つ折りの小さめのチラシが重ねて置いてあったりして見にくいものもありました。どれだけの人がチラシを持って行かれるのか把握はされているのでしょうか？ そこで、市役所1階の窓口の近くと生涯学習センター2階の受付の近くにチラシをまとめた情報コーナーを設置することを提案します。	市役所1階には、各種受付窓口があって、番号札をとって順番を待っている人がいます。私も、ときどきその中の一人になりますが、番号が表示されるまでじっと待つことになります。そんなときふと思い出したのが、愛知芸術文化センター内にある情報センター「アートプラザ」(地下2階)のことです。芸術文化に関する情報コーナーです。 岩倉市役所の1階に、市民生活に関する各種閲覧資料があったり、市民活動や地域活動の情報コーナーがあれば、順番待ちの時間にも、十分見て回ることができると思います。	さまざまな情報提供の場、情報収集の場として役立てば、岩倉市の活動や地域コミュニティづくりの推進にも寄与すると思います。あまり詰め込まずに、中身をしっかりと見ることができるよう、立ち寄ってみたいくなる魅力的なレイアウトにしたらどうでしょうか。
36	どうしても五条川でホタルの観察がしたい。	今まで本物のホタルを見たことがないので、五条川で観察できたらとても嬉しいです。 今はホタルは山奥のキレイな川にしかいないと思うので、夜に遠くまで行かないと見られません。でも妹達が小さいので行くことができません。担任の先生から小学生の時にはすでにホタルはいなかったと聞きました。五条川をキレイにして、五条川でホタルの観察がしてみたいです。そして、来年も自然に五条川にホタルが来るのかも知りたい。	水辺の会のみなさんや、ボランティアを募集して、みんなで協力して五条川をキレイにする。 私は五条川小学校に通っているの、出来れば学校の近くの五条川がいいです。 水辺の会の皆さんに色々教えてもらいながら、大きい網の中に購入したホタルの幼虫を川に放って成長を待つ。成虫になって観察をする。 それが成虫を買って、五条川に設置した大きい網の中に放ち観察をする。	五条川がキレイに保たれる。 ホタルを見たことがない子供は多いと思うので、観察をすることで知識が増えて、ホタルを守りたい優しい気持ちも芽生える。 五条川を定期的に掃除をして、キレイにすることでホタルが来てくれるかもしれないという期待が膨らみ、テンションがあがる。
37	自然のい～わを取り戻せ！ みんなの緑大作戦	岩倉市は田んぼと市街地の両方があり、名古屋のベッドタウンと自然と親しい街としての機能を持ちます。春には見事な桜が咲き、夏にはきれいな水田が見られるように、岩倉の自然は市民の心を豊かにし、快適な生活を届けています。しかし最近は水田の面積も減少し、五条川も下流は非常に濁っているのに対策がされず、私は岩倉市で見つかる資料集に記述のあったクロメダカを見たことがありません。このような現状に対し、岩倉市のアイデンティティに大きく関与する自然や生き物を活性化させたいというのが理由です。岩倉の自然は、子どもたちの人格形成にも大きな影響を与えます。私は小さい頃からカエルを捕まえたり、セミやバッタを捕まえたり、五条川を身近に感じていたことで、生き物への関心が強くなり生物系を専攻しています。他に、生物多様性を守り広める団体にも参加しています。このように、子どもの将来と自然には大きな関わりがあります。そのほかに、自然豊かなところで子育てをしたいという若者を自然を保護し後世に伝える姿勢をもって惹きつけることができますし、高齢者や農業の活性化について改めて焦点を当てることにもつながります。	1. クロメダカの飼育、水田で自生する確認ができるところまでの案。小学校などでのクロメダカの飼育、クロメダカの岩倉市の今までの情報収集、市民への環境への意識付けをします。 2. 岩倉の自然しらべ 岩倉市に住む高齢の方から、昔の岩倉はどんな自然や生き物がいたのか、今見られなくなった生き物は何かなど話をきき、本か冊子にまとめ上げます。小学生がインタビューを行うと、高齢者と子どもの交流の場とすることができます。自然であればどの世代でも一定量は触れたことがあるので、家族の会話も弾み、岩倉への郷土愛も深まると予想します。岩倉市を各町で分類して、それぞれの町の特徴を比較する作業も、中学校間で行ってみるのも良いと思います。詳しい内容は小学校や中学校で環境学習の一環として提案してもらいたいと思います。 3. 自然に触れる体験 最近は高齢化が進み田んぼの手入れもあまりよく行われてないことを考慮して、ある一角の田んぼを地域のみんなで育てる取り組みを行いたいと思います。農業に関心を寄せる効果にもつながります。この事業は、小学校での田植え、稲刈り体験を行っている農家さんと話を進めるとうまく進むのではと思っています。	市の認知度の向上、五条川の水質の改善、市民の郷土愛が深まる効果、家族での会話が増える効果、農業の活性化、市民の増加、子どもの主体的かつ体験的な学びの促進、クロメダカの保護、既存の自然の保護、岩倉市のアイデンティティの形成かつ維持
38	池の水ぜんぶ抜く大作戦	生き物が大好きだからです。	岩倉市内の池など、50年以上放置されているところをテレビの力を借り、綺麗にする。 そのような所があるのかはわかりませんが、、	池が綺麗になり、本来の姿に戻る。 市民への今後の生き物に対する注意喚起。 全国的な知名度アップ。

No.	提案事業名称	提案理由	具体的な提案内容	予想される効果
39	にゃんともいわくら50プロジェクト ～ペットと暮らせる岩倉市を目指して～	<p>私は動物が大好きで、現在は保護した猫を飼っています。しかし、持ち家ではない私は、動物を飼っていると、ペット可物件、とりわけ「猫を飼える賃貸物件」が少ないことに頭を悩ませることが多々ありました。</p> <p>物件を調べていくと、部屋の借り手がいないから仕方なく「ペット可」にただけといった、他の住民の方の理解があまり得られていないと思われる物件なども散見されます。今も、よりよい条件で猫を飼える物件を探していますが、条件の合う物件は市外であったり、または県外であったりと、なかなか難しく、捗りません。</p> <p>また、広報いわくら4月号に掲載があった「飼うなら最後まで ずっといっしょに」の記事を拝見し、県内にはまだ殺処分されるペットも多いという事実を再認識しました。保護されたペットの引き取り手が、もっと増えればいいと強く願うとともに、今まさに猫を飼っている私に、万が一の事が起こった場合を想像したりすると、猫の将来がかなり心配になっております。</p> <p>そこで、ペットと安心して暮らせる物件、今回は主に殺処分数の多い猫を飼える物件が岩倉に増えたらいいなという願いをこめて、この提案をいたします。</p>	<p>○UR都市機構に協力をお願いし、岩倉団地の端の方(動物が苦手な居住者の方々を守るため)を1棟まるごと猫可物件にする。団地内での移住希望者も募る。(壁紙の補強など、猫との住環境を整えることも含む)</p> <p>○将来的にこのプロジェクトに賛同していただける、物件をお持ちの大家さんや、持ち家にお住まいのご家庭にも広く猫の受け入れを打診するなど、今回の市政50周年にちなみ、50匹の猫の受け入れをめざす。</p> <p>○これから猫を飼う事、猫可物件への入居を検討している方に、愛護センターや県内の猫シェルターにいる猫の保護を促す。できれば、避妊去勢、ワクチン接種などの補助も。</p> <p>○ペット可物件に入居をされる方の協力も仰ぎ、高齢の方や病気の方など、どうしても飼えなくなったときのための一時保護など、市独自のセーフティネットなどの具体策を整える。</p> <p>○公的な機関である市に、ペット保護に関するわかりやすい窓口を儲け、保護までのルートの確立、周知をして実施期間後の動物愛護につなげる。</p>	<p>○猫飼育可という条件は希少なため、猫を飼いたいと思う人が物件を検討し、岩倉団地の空室が減る一助になる。</p> <p>○団地内の猫と暮らしたい方のニーズを満たし、ペットを飼う家庭を一角にまとめることにより、ペットによるご近所トラブルを減らし、猫アレルギーや、動物が苦手な方への配慮にもなる。</p> <p>○公的機関である市が窓口となり、市全体でペットを受け入れる体制を整えば、保護希望者の利便性向上、安心感の醸成、市内にとどまる世帯の増加や近隣市外からの転入を促す効果が見込め、人口増のきっかけになりえる。</p> <p>○猫の殺処分を減らした実績は、全国レベルでのシティブロモーションの材料となる。そして市内外に動物愛護の姿勢を周知することで岩倉市の認知度、魅力をより高め、シビックプライドを醸成するとともに、各家庭や教育機関において、次世代への動物愛護の在り方を考える機会となる。猫が助かる＝人が誇れる、そんなwin=winを目指せる。</p> <p>○万が一の飼育不能に備えたセーフティネットがあれば、生きがいを持っていただきたいご高齢の方の動物飼育も促せる。アニマルセラピーの側面が、健康都市いわくらの理念にも重なっていく。</p>
40	中学・高校弦楽部設置	<p>岩倉市はセントラル愛知交響楽団の本拠地で、ジュニアオーケストラもあります。</p> <p>「音楽のあるまちづくり」を進める一環として、市制50周年の節目に中学高校に弦楽部の設置を提案いたします。</p> <p>さらに発展構想として弦楽部、吹奏楽、セントラル愛知、ジュニアオケなどの合同記念演奏会などできると50周年を市民みんなで祝う気持ちになると思います。</p>	<p>○中学・高校に弦楽部を設置する。</p> <p>○弊音楽教室も講師派遣など協力できると思います。</p>	<p>○「音楽のあるまちづくり」をより進めることができる。</p> <p>○県内でも数少ない公立学校の弦楽部は岩倉市の魅力の一つとなる。</p> <p>○子どもたちの音楽を通じた体験はその後の人生の生きる力となる。</p>
41	不登校・引きこもりの音楽サークル	<p>不登校・引きこもりが全国的な課題になっております。市制50周年と言っても、その方々には何も関係ないものになってしまうのではないのでしょうか。</p> <p>そういった方々の居場所の一つとして、不登校・引きこもりの当事者、その家族、そして、それをサポートする医療関係者、保健所スタッフ、市担当者、社協などが集まる音楽サークルを提案いたします。不登校・引きこもりの方々も50周年を祝いましょう。</p>	<p>○不登校・引きこもりの当事者・家族に加えて、サポートスタッフを参加者とした音楽サークルを作る。</p> <p>○まずは合唱、希望者があれば器楽も追加する。</p>	<p>○不登校・ひきこもりの方々も自分関係ない、見捨てられていると思うことなく、社会と関係がもてる。</p> <p>○一緒になった活動を通して、何気ない相談となり、社会復帰の一助となる。</p> <p>○全国的に自助会はあるものの当事者とともに、医療関係者や保健所スタッフ、市担当者などが集まるサークルは聞いたことがないので、成功すれば注目される市となり、市の魅力があがる。</p>
42	学校給食無農薬野菜事業	<p>去年のシェフのスペシャルメニューでは無農薬野菜が使われていました。孫に植物アレルギーがあるのでとても良い事だと思いました。日本の農薬使用基準は、ヨーロッパと比べるとかなり高いと聞きます。未来を担う子供たちには、より安全なものを食べさせてあげたいと思います。給食に定期的に無農薬野菜を使うことにより、食の安全と地球持続性を考えるきっかけになります。また、広く市内外にPRすることにより、より意識の高い若い世代に岩倉市に興味を持って貰えば、人口増加に繋がると考えます。</p> <p>このようなことから、学校給食に定期的に無農薬野菜を使うことを提案します。</p>	<p>○毎月1回、学校給食に使用する野菜を、無農薬のものにする。</p> <p>○「農薬0の日」などとうたい、PRする。</p> <p>○その日は、児童生徒に農薬や食品添加物の危険性を、国連SDGs17と共に教える。配布物などで、家庭でも考えてもらう。</p>	<p>子供たちに、普段食べている食材に興味を持って貰い、親にも家庭で使う食材を考えてもらう機会となる。児童生徒の健康管理と地球環境保全・持続性概念教育。</p> <p>市内外にPRすることにより、岩倉市が注目される。</p>

No.	提案事業名称	提案理由	具体的な提案内容	予想される効果
43	学校給食の無添加食材使用、有機野菜使用	<p>現在学校給食の食材で、無添加食材、有機野菜をどれだけ使用しているのかは分かりませんが、日本の農薬使用基準は世界の中でもかなり高いようです。4、5年前に小学校の給食で「ちっちゃい菜」に虫がついていたため、おかずが一品減る、ということが数回ありプリントをいただきました。その際に、市民の声にも投稿させていただきました。私の投稿は「このようなことが起こりましたが、だからと言って農薬を使用した野菜を使用することに反対します。スタッフの方で丁寧に洗浄することを心がければ防げると思います。農薬の使用を反対します。そのために給食費が値上げされても構いません。」という内容でした。その後、岩倉市の担当者様からは、納得できる丁寧なお返事をいただいたことを覚えています。</p> <p>文面もとても丁寧で、一生懸命子供達のことを考えて給食を作られているのだなあ、と嬉しくなりました。私は普段の食事ですできるだけ無添加の食材を使っています。調味料も素材そのものから作られているもの、例えば味噌なら大豆と麹と塩だけの無農薬の味噌と、家で作った手前味噌との混合です。そのほうが美味しいし、何より食品添加物を子供達にはなるべく取らせたくないと思っています。食品添加物にはアレルギーや発がん性があると言われていています。また、味や香りに影響を与えるので、知らないうちに「糖分、脂質、塩分過多」になることがあると思います。</p> <p>昨年度の学校給食の「シェフのスペシャルメニュー」では、無農薬野菜が使われたと知り、とても嬉しく思っていました。ですが、子供達からの反応は「味が薄い、色が茶色い」など。残念な反応ではありましたが、今までの学校給食に一石は投じたのではないかと思います。私は普段加工食品や味の濃いものを食べている子供達に、素材そのものの美味しさを知ってもらえたらいいなと思います。</p> <p>最近はアレルギーのお子さんも多く、子供達の食べるものに気遣うお母さんは多いと思います。岩倉市が学校給食で「食の安全」に取り組んでいることで、意識の高い若い世代にPRでき、岩倉市がもっと暮らしやすい、住みたい町になるのではと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一年に数回、有機野菜の日、オーガニックの日、無添加食材の日(など呼び名は未定ですが)と決める。家庭には配布物。(当日、動画などで子供達にオーガニックとは何かを伝える。農薬や食品添加物についてのレクチャーをする。野菜や調味料の生産者からの話を聞く。) ・フェアトレードの講演会を開く。(講師 原田さとみ氏) ・町ぐるみで食育に力を入れる。 	<p>子供達や親に、普段食べているものがどこでどうやって作られているか、興味を持ってもらうことにより、食材の貴重さに気づく→食品ロスも減らせる。</p> <p>体の中からも健幸(健康)でいることを意識できるようになる。</p> <p>岩倉市の取り組みを市外にPRできる。→移住者も増える。</p>
44	給食食べてみたい!	<p>コロナのせいで給食の試食会もないので給食をテイクアウト弁当のようなかたちで食べてみたい。</p>	<p>市役所やゆめミールで給食をテイクアウトで販売して欲しい。</p>	<p>こどもがどんな給食を食べているのか気になっている親に給食の内容を教えられる。</p>
45	ディズニーパレード岩倉でみんな笑顔になろう	<p>私がディズニー好きで他市みたいにディズニーパレードをしてほしい。岩倉市と同じ年【昭和46年12月2日生まれ】なので是非とも夢をかなえて頂きたいです。</p>	<p>市のイベントがあるときにパレードを行うのがよいかと。</p>	<p>パレードを行えば、市外からも人が来られると思います。その人達が岩倉のお店を利用すれば商業の人達も潤うと思います。</p>
46	ディズニーパレードで50周年を盛り上げよう	<p>ディズニー好きの孫と一緒に岩倉市でどうしてもディズニーパレードが見たいと思い提案しました。</p>	<p>一宮市が市制記念事業でパレードをやったときに見に行きました。同じような内容でパレードを実施してほしいと思います。場所は消防署の前の通りでできないでしょうか。ご検討お願いします。</p>	<p>みんな大好きなディズニーパレードが岩倉でやれたら、一生の思い出に残るのではないのでしょうか。</p> <p>市外からも観覧者が来て、岩倉市の知名度向上や来訪者の増加にもつながります。</p>
47	夢のパレード(新柳通りで踊りのパレード)	<ul style="list-style-type: none"> ○岩倉鳴子おどりの会五条川桜の発足時、いずれは岩倉のまちで鳴子踊りの祭典(パレードとステージ)をしたいと思っていた。 ○50周年記念事業という市のプロジェクトの応援があれば夢がかなうのではないかと考えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新柳通りで踊りのパレード形式とステージ形式の発表をする。 ○鳴子踊りの仲間だけでなく、市内のダンスチームなどにも参加していただく。 ○近隣の市町の鳴子踊りグループにも声掛けし、踊っていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○岩倉市民を元気にする効果(私たちのキャッチフレーズ「いつも元気、人もまちも」の通り、鳴子踊りを見たり参加したりすることで岩倉を元気にできる)→今のコロナ禍による疲弊は見るに堪えない。それを脱出する一つの方法としての「岩倉元気UP効果」。 ○お昼をはさむための飲食や、お土産に岩倉名産品を買っていただくことの「商業的效果」。 ○軽トラ市・みのりの里・岩倉駅地下農産物販売を通してダンス以外のグループを巻き込み元気を共有する「コラボ効果」。 ○市内パフォーマンスグループが参加することで発表者の家族友人などの追っかけや応援に加え、普段見られない他市町の鳴子踊りに見学が見込まれる岩倉市民の「観客動員効果」。 ○他市町の鳴子グループを招待することで岩倉を知っていただき市の良さを体感していただくことで、市民と仲良しになれる「交流親睦効果」。
48	シェアハウスの新設	<p>岩倉市は500軒程の空き家があるそうだ。北名古屋市には芸術大学もあり、当市では高齢化も激しくなっている。单身者も多くなり、実験的に「シェアハウス」構想を立案されてもよいのではないかと思います。</p>	<p>岩倉団地で実験する。(折衝が必要)</p>	<p>音楽の街の具体的な施策を進める。</p>

No.	提案事業名称	提案理由	具体的な提案内容	予想される効果
49	石塚硝子さんとい〜わくんコラボ	い〜わくんグッズに地元企業とコラボで【い〜わくんポロシャツ】は一般市民には着にくいです。	市制50周年を記念して、石塚硝子さんとコラボでい〜わくんグッズを限定で販売してみたいです。	い〜わくんポロシャツは中々のお値段もしますし、一般市民には着づらい感じもあります。グラスだと家で愛用してもらえるかと。
50	巨大プラレールを作りたい	男の子なら幼い頃から馴染み深いプラレール。実は大人になってもプラレールファンは多い。実は僕もその一人です。家ではできないような巨大プラレールを作ってみたいと思うのはきっと僕だけではないでしょう。	巨大プラレールを市民で作りあげる。またその動画を撮ってYouTubeで流す。完成後、自分所有のプラレールを走らせることもできる。	巨大プラレールを作って、注目を浴びることで、市外からそれを見学に来る人が見込まれる。YouTubeで流すことで全世界に岩倉を知ってもらおう絶好の機会になる。
51	五条川の氾濫防止対策	記入なし	五条川川底の掘り下げ	岩倉市財政難も問題点
52	避難所指定場所の増加	記入なし	<ul style="list-style-type: none"> ・個人避難用に車やテントを張れる敷地の指定場増地 ・トイレ増設 ・井戸増設 ・各避難所に段ボールベッド、それに代用できるベッドの保管 被災時、迅速に設置できるように、コロナ対策、地元企業で、改善製造してもらう。持ち運びしやすく、安く軽量で丈夫なもの <ul style="list-style-type: none"> ・被災時のゴミ置き場の確保 一時置き場の各地区の空き地指定確保。(持ち込み物で火災、崩落発生の危険があるので安全な場所) ・避難所の冷暖房対策 自然を利用してできる方法も込み <ul style="list-style-type: none"> ・避難所、被災地の防犯対策 ・大型台風へ備えた防災対策 	災害時の生活用品を、岩倉市の企業で連携しあい原料から作成、生産、出荷、販売するシステムをつくり、企業から岩倉市への納税率を増加してもらうのはどうでしょうか？